

東山で暮らす

～住んでこそ！東山プロジェクト 進行中～

寺社、京町家、路地、石畳…日本の伝統が色濃く残る東山区は、京都の文化、歴史、観光の中心とも言える土地柄で、世界中の旅行者を魅了してやみません。

一方で人口が減る、空き家率が高いなど、住む、暮らすといった点では決して課題が少ないのも事実。でも、今、まちの魅力を活かしながら、暮らしやすい東山をつくっていかうという活動が、いろんなところで始まっているんです。



まちじゅう宝箱 LINEUP

※掲載情報は令和5年2月現在のものになります。参加・利用時は各施設・団体に直接お問い合わせください。

介護予防体操をWEB配信 NPO法人 音の風

WEB体験会 3/20(月) 15時～
コンテンツ配信 3/20(月)～27(月)
オンライン(インターネット)
TEL：075-525-0600

※オンライン
限定のため
図上の掲載は
ありません。

1 地域コミュニティのハブ 白川ライフアカデミア

地域の課題解決を目指す拠点です。
日時はHPで！
東山区古川町544
TEL：075-754-8714



2 市民活動を幅広く支援 東山いきいき市民活動センター

eスポーツ交流会
3/25(土) 14時～16時
東山区異町442-9
TEL：075-541-5151



3 居場所づくりカフェ開催 やすらぎ・ふれあい館

3/28(火)
13時30分～15時30分
東山区五条通大和路東入
5丁目梅林町576-5
TEL：075-551-4849



4 未就学児とお母さんのための子育てサロン いちご組(真教会館)

毎週月曜10時～11時30分
東山区鍵屋町485
TEL：075-533-3380



5 学童クラブ以外の人も遊べる場所 今熊野児童館

みんなであそぼうデー
3/22(水) 16時～16時30分
3/29(水) 16時～16時30分
東山区今熊野日吉町48-34
TEL：075-561-6187



6 コミュニティスペース&レンタルギャラリー みらくまの

平日 10時～17時
土日祝の利用は応相談
東山区今熊野榎ノ森町41-12
TEL：075-525-4372



7 読書&学習サポート ルーミー図書館

毎週火曜10時～13時
毎週土曜10時～12時
毎週日曜10時～17時
東山区今熊野榎ノ森町1-10
TEL：075-203-0748



8 幼児から大人まで作る・学ぶを テーマにイベントやります 高松橋ひろば

ひろばであそぼ&ラーニング
日時は随時Instagramで配信
鳥羽街道駅西徒歩1分
イベントによっては開催場所が「高松橋
ひろば」以外場合があります。



昔ながらの建物や 使っていない家を

宝箱に！



誰も住んでいない 建物はどうなる？

現在、東山区の住戸は、実に5件に1件が、住む人や利用する人がいない中古住宅（空き家）。京都市全体でみても、最も多いという状況です。住人や利用者のいない期間が長く続くと、倒壊の危険性が高まったり、資産価値が下がったり、犯罪の温床になったりと、良くないことづくめ。まちの景観や安全性が損なわれ、さらなる人口流出にもつながっていきます。

一番の問題が、この「地域から人が減ってしまう」ということ。住民同士が助け合う「共助の力」が働かなくなり、火災や地震といった災害時に必要になる地域活動の担い手が減るなど、さまざまな取り組みに支障が出てきてしまいます。

利用しない状態が続くと…



住まうようなアトリエ

CASE 2

築年数／約120年以上 構造／木造2階建

路地の町家で実現した新しい働き方

六波羅蜜寺や清水寺など寺社も多く、東山らしい町家や路地がひしめく地域に工房兼店舗として「アトリエ立夏」をオープンされた志知さん。ここで作家として絹糸が織りなす幾何学模様が美しいリング「加賀ゆびぬき」を作られています。もともとは木箱屋さんの工房だった町家中古住宅に一目惚れし購入を決意。ここを選んだ理由は、「大通りに面していないから静かだけれど、観光にあわせてこのアトリエを目指して訪れてくれるから」。

カラカラと扉を開けると店舗の奥で制作に取り組む志知さん。工房では「ゆびぬき教室」もされていて、来られたお客様からは「こんな町家で一日過ごせて素敵」と感動されることも多いそうです。



ゆびぬき作成の様子



店舗外観



アトリエ内観

つながりの「場」の提供

CASE 1

築年数／約100年 構造／木造3階建

旧宅を東山の魅力発信基地に！

もとは旅行代理店に勤められていた西澤さんは退職後に起業し、自身のお祖母さんの空き家をリノベーションし、京町家の1棟貸し宿泊施設をオープン。さらに「人と人がつながる「場」をつくりたい」という思いから、しばらく使われていなかった元お茶屋さんをワークスペースと観光案内BARを併設した「SIGHTS KYOTO」としてオープンされました。

「東山区の建物の良いところは古いものをアツプサイクル（元の良さを活かしながらより良くして使い続けること）しているところだと思っいろいろな活用方法を皆で考えていけるともっと面白いイノベーションが起こせるはず」と現在は東山区に住みたい人を応援する新たなチャレンジをされています。



地域のひとと旅行者が一期一会の時を共有する場所です

西澤さん



改修前の内部



現在の店内

暮らしに優しい東山をみんなで！

キーワードは

共助と地域コミュニティ



“区民気質”を活かしたプロジェクト が動き出しています

中古住宅の活用や表紙でご紹介した「まちじゅう宝箱」だけでなく、助け合い、つながり合うという昔ながらの“区民気質”で、暮らしやすい東山をつくっていきましょうという活動が、さまざまに動き出しています。そのベースになっているのが「住んでこそ!東山プロジェクト」(詳細は裏表紙)。「共助」と「地域コミュニティ」をキーワードに、区民みんなで、誰もが暮らしやすい東山にしていこうという取り組みです。

中古住宅の活用で、 東山をもっと楽しむ♪

そんな状況を変えようと、東山区では、中古住宅の活用に注目しています。特に最近では区外から移住して中古住宅を活用する方が増加。その用途は実に多彩ですが、根本にあるのは、皆さん東山の地域性に魅力を感じているということ。その活用の様子と東山への思いをご紹介します。

口コミは最強の住宅探し

築年数／約55年以上 構造／木造2階建

CASE 4

地域と商店街に溶け込む暮らし

高橋さんは、5年前から京都でシェアハウスの事業を地域に根差した形で展開されています。入居者の方に地域に溶け込んで暮らしてもらうため、地域と結び付ける役割を担ってられます。パートナーとの同居を機に、自身の住宅を探した時に頼りになったのは「不動産屋さん」ではなく、「地域の人」。「高橋さんになら貸してもいい」と言ってくれる家のオーナーを地域の人がいつの間にか何人も見つけてきてくれたそう。

また、表紙に掲載の白川ライフアカデミアがある古川町商店街を中心にもっとものにぎわいのあるまちにしていこうとまちづくり協議会の先頭に立って活動されています。

東山の住まい探しは
検索サイトより
井戸端会議(笑)

高橋さん
カップル



路地奥にあるお住まい



古川町商店街

中古住宅への移住

築年数／約95年以上 構造／木造2階建

CASE 3

下町風情が残るご近所付き合い

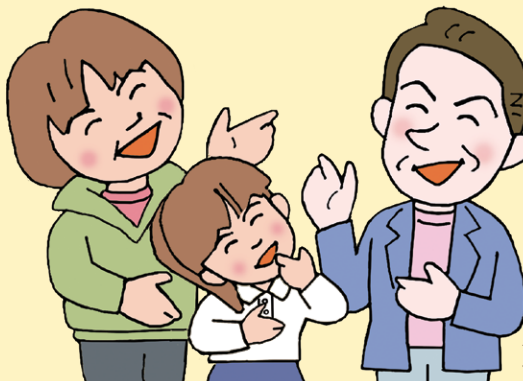
フランス生まれのシルヴァンさんが住む月輪学区は、昔ながらの民家や京焼・清水焼の工房が立ち並ぶ地域です。一家で東山区への移住を決めた理由は、京都駅に近く、他府県へのアクセスもしやすく、山や川など豊かな自然環境が近く、良い物件に出会えたから。築95年以上の木造家屋を自分でリフォームし、丸2年。その間、近所の方から声を掛けられたり、差し入れをもらったり、自然と地域になじむことができたそうです。地域の方にも子どもを見守ってもらい、安心して子育てできる環境があり、お子さんもすくすくと育っておられます。これからは、生まれ故郷の名物又ガーを広めていきたいと夢を語られています。



ご近所の人たちと「火の用心」活動



ご自宅周辺の路地



ご近所同士の
助け合いが多く、
子育て世代に
うれしい!

シルヴァンさん
ファミリー

今、中古住宅が活用しやすくなっています！

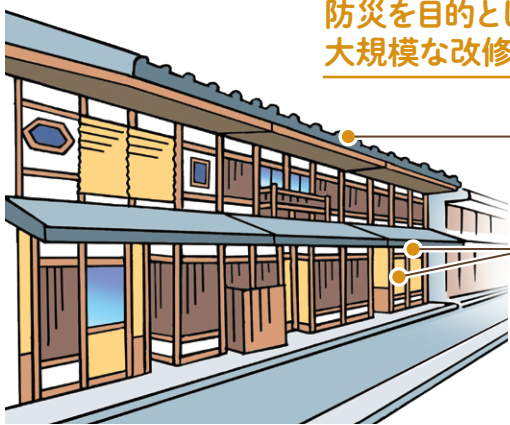
Q. 狭い路地に建っている住宅は
改修や建て替えができないのでは？

A. **いいえ！可能です。**
路地の再生を後押しするために
制度を充実させました！

「再建築不可」として何もできないと思われがちな狭い路地でも、制度運用の見直しにより、以前よりも建て替えや大規模な改修がしやすくなってきています。これにより、あらゆる路地の再生をしやすくし、防災と居住環境の向上を図れるようにしています。
路地奥の建物にお住まいの方、または所有されている方で、大規模な改修や建て替えて自分の持っているところはどうか？と思った方はぜひご相談ください。

例えば…

**防災を目的とした改修を条件に
大規模な改修が可能**



耐震性能を
高めるために
屋根を軽量化

防火性能を高めた
軒裏・開口部に

※条件は一例です。

Q. 費用や制度のことなど、中古住宅に関して
安心して相談できるところはあるの？

A. **はい！あります。**
「すまいの事業者選定支援制度」が
スタート。中古住宅に関するサポート
が受けられます。

京都市が登録している、中古住宅（戸建て・マンション）の取引（賃貸など）やリフォームなどに詳しい、地域に根差した安心できる事業者（不動産事業者、建築士事務所、工務店、瓦・板金事業者）さん＝安すまパートナーを検索するシステムを公開しています。電話でのご相談もどうぞ。



ケータイから

〈京 安心すまいセンター TEL：075-744-1670〉



京都市のすまいに関する質問やお問い合わせは

京 安心すまいセンター

TEL：075-744-1670 FAX：075-744-1637

[受付時間] 午前9時30分～午後5時 [休館日] 水曜日・第3火曜日・祝日・年末年始

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1（河原町五条下る東側）
ひと・まち交流館 京都 地下1階

PRODUCED by 京安心すまいセンター（京都市住宅供給公社）
すまいの情報ひろば



ケータイから

京町家のことならコチラも！

京都市京町家の
総合情報サイト
「京町家を未来へ」



もっと楽しく、未来につながる「東山暮らし」へ！

住んでこそ！東山プロジェクト



東山区では、人口減少を食い止め、さらに暮らしやすいまちにするために、3つの活動方針を掲げてさまざまな取り組みを推進しています。ぜひ一緒に東山区の魅力を高めて、盛り上げていきましょう！



居住・移住策の実施 に向けた連携体制

個人、事業者、学識経験者や市の職員などと連携。みんなで協力して東山暮らしの魅力を高める体制を整えます。



住みたい動機を高める 環境の整備

お試し居住の実施や、SNSなどさまざまなメディアで東山区の魅力を発信する取り組みを継続し、多くの人が「住みたい」と思える状況を創出します。



住まいの供給

空き家やワンルームの空き室の活用、路地の再生などによって、新たな住居を生み出し、東山区での多様な暮らし方をご提案します。

「住んでこそ！東山プロジェクト」について、詳しくは東山区のWEBサイトをご覧ください

東山区 住んでこそ

検索

